

新竹市へのホームステイを終えて

芳川 健大

僕が8日間の新竹へのホームステイを終えて一番感じたのは英語能力がいかに大切かということです。

ぼくのホストファミリーは、友達と、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、の5人家族です。



お世話になったホストファミリー

おじいちゃんとおばあちゃんは、広東語しか話せませんでした、あとの3人は、英語も話せました。

それに比べてぼくは、単語とジェスチャーしかできない片言でした。

ぼくに英語を話す力があればもっと楽しかったのにと思いました。

英語の授業プログラムを体験したときも同じことを思いました。

教室だけでもいくつもあって台所を具体的にシミュレーションして、分かりやすく授業が、組まれているなと思いました。

日本でも中学から6年間で大学まで行くと10年も英語を

勉強しているのに、ぼくの両親はホストファミリーの両親と大違いです。

これからグローバル化が進んでいき英語はますます必要だと思えます。

日本の英語の教育を進めていってほしいと思えます。



エビ釣り(この後焼いて食べた)



台北101にて



英語の教室